

## 1. 交通結節点整備の背景・目的

本市では公共交通における「高齢者などの不安と多様なニーズへの対応」「利用が伸びない公共交通サービス」「日常生活における自家用車の多用」などの様々な課題に対応するために、交通軸と交通結節点による公共交通ネットワークを構築し、自家用車に頼らなくても誰もが快適に移動できる環境の実現を目指している。

実現に向けて、鉄道、高速バス、路線バス、コミュニティバス、タクシー、自転車などの移動手段の整備・導入と、これらが接続する「交通結節点」の整備を推進することが求められる。

公共交通ネットワークにおける交通結節点は、各地域間の連携を強化し、中心市街地の活性化や市全体の活力と魅力を高めていくために、まちづくりの将来像や市民等の移動ニーズを踏まえ、市内適所に整備をする必要がある。さらに、接続する移動手段や利用者の属性を考慮し、円滑な乗り換えや快適な待合機能を備えることで、公共交通の優位性を高めていくことが出来る。

このことから、本方針においてこれらを整理したうえで今後5年間の整備方針を示すものである。

## 2. 交通結節点及び交通結節点候補地の抽出・整理

交通結節点は、それぞれの地域の特性によって、果たすべき役割や接続する移動手段が異なるため、上位関連計画における将来都市構造や公共交通ネットワークのあり方を踏まえ、次のとおり交通結節点・交通結節点候補地の抽出・整理を行った。

### 【公共交通施設（●）】

#### ◆役割

山形市公共交通ネットワークにおける大骨格・中骨格を連結する交通結節点。市民や観光・ビジネス等の移動が円滑で効率的にできるよう拠点機能を整備。

#### ◆箇所

鉄道駅、バスターミナル、高速バス停留所、主要な路線バス停留所、道の駅等

#### ◆接続する移動手段

鉄道、高速バス、路線バス、その他多様な移動手段

### 【地域拠点施設（●）】

#### ◆役割

山形市公共交通ネットワークにおける小骨格・神経系を郊外部において連結する交通結節点。複数の集落が点在する郊外部に居住する高齢者等の日常的な移動を支える機能を整備。

#### ◆箇所

日常生活における活動拠点  
 (例：コミュニティセンター、小学校跡地等)  
 ※当方針では具体的な箇所の位置付けは行わない。今後、地域の公共交通や福祉輸送の導入、ウォーキング・サイクリングモデルコースなどの検討に合わせて随時、適地を設定する。

#### ◆接続する移動手段

コミュニティバス、郊外地域のモデル事業・福祉輸送等

### 【生活基盤施設（●）】

#### ◆役割

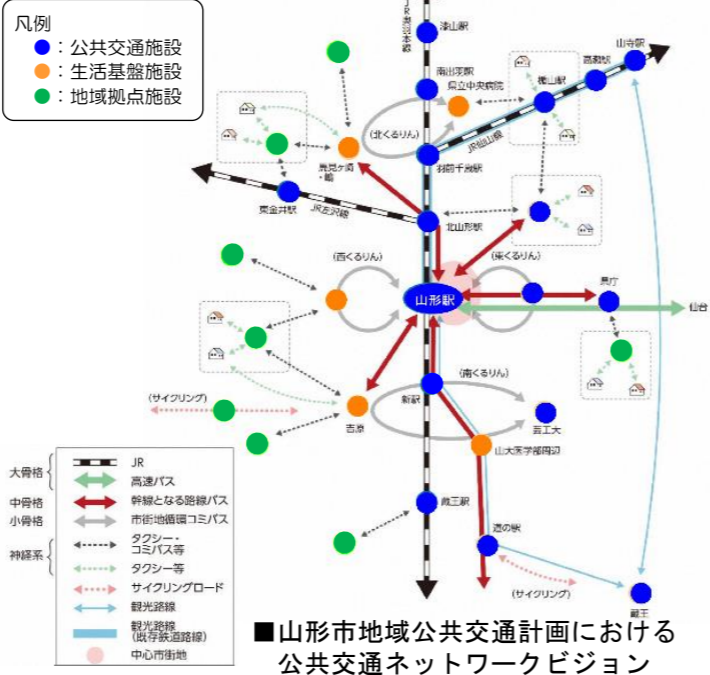
山形市公共交通ネットワークにおける中骨格・小骨格・神経系を連結する交通結節点。中心市街地と郊外地域の接続や市民の日常的な移動を支える機能を整備。

#### ◆箇所

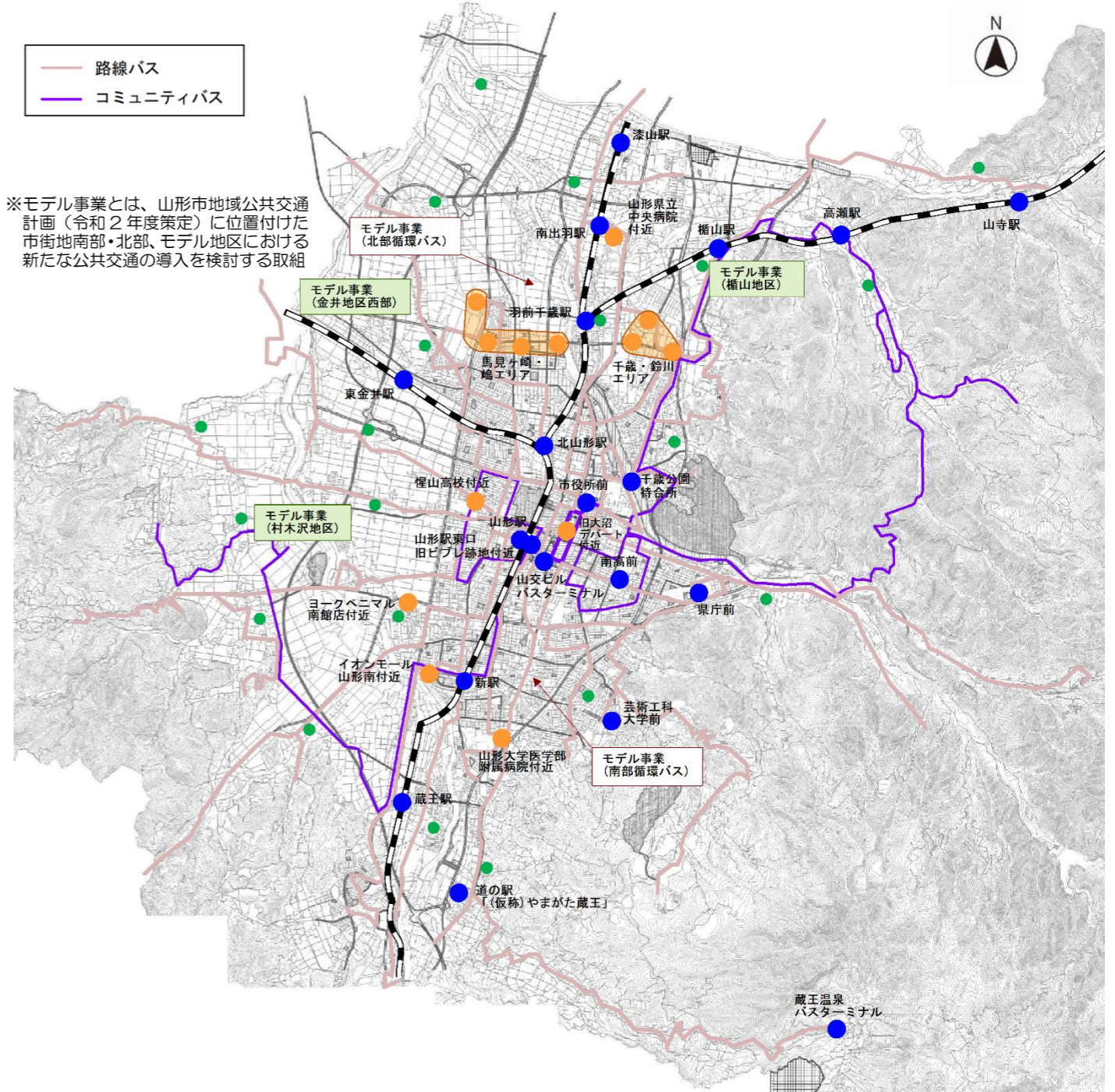
日常生活における主要な目的地となる施設  
 (例：商業施設や総合病院等)  
 ※国のガイドラインを参考に、都市機能施設の集積状況や人の滞留・流動状況、上位・関連計画の位置づけ等の分析を踏まえ、交通結節点候補地を選定した。

#### ◆接続する移動手段

路線バス、コミュニティバス、タクシー、郊外地域のモデル事業・福祉輸送等



## ■交通結節点及び交通結節点候補地の位置図



※モデル事業とは、山形市地域公共交通計画（令和2年度策定）に位置付けた市街地南部・北部、モデル地区における新たな公共交通の導入を検討する取組

## ■交通結節点・交通結節点候補地一覧表

	交通結節点・交通結節点候補地
公共交通施設：● (20箇所)	鉄道駅：山形駅、北山形駅、蔵王駅、東金井駅、羽前千歳駅、南出羽駅、漆山駅、楯山駅、高瀬駅、山寺駅、新駅 その他：山交ビルバスターミナル、道の駅「(仮称)やまがた蔵王」、千歳公園待合所、蔵王温泉バスターミナル、市役所前、芸術工科大学前、南高前、県庁前、山形駅東口旧ビブレ跡地付近
生活基盤施設：● (8箇所)	該当箇所：山形県立中央病院付近、馬見ヶ崎・嶋エリア（イオン山形北店付近、他3箇所）、千歳・鈴川エリア（山形国際交流プラザビッグウィング付近、山形市総合スポーツセンター第一体育館付近、他1箇所）、榎山高校付近、旧大沼デパート付近、ヨークベニマル南館店付近、イオンモール山形南付近、山形大学医学部附属病院付近
地域拠点施設：●	該当箇所：未定（コミュニティセンター、小学校跡地等） ※当方針では具体的な箇所の位置付けは行わない。今後、地域の公共交通や福祉輸送の導入、ウォーキング・サイクリングモデルコースなどの検討に合わせて随時、適地を設定する。



### 3. 交通結節点に整備すべき機能

国の交通結節点整備における基本的な考え方を参考に、円滑な移動とストレスのない待合環境の実現に向けて、駅舎・駅前広場やバスターミナル・バス停留所などの基本機能に加えて、交通結節点に整備すべき機能を次のとおりとする。各交通結節点における整備すべき機能については、現状における利用者数及び見込みを基本として、施設の状況や接続する移動手段等を踏まえ整理した。

なお、具体の整備にあたっては、本方針を踏まえ交通結節点ごとに、基本構想の策定、基本設計、実施設計を行い、この検討の中で具体的機能、仕様及び必要量等を決定する。

#### ■交通結節点の機能

機能	分類	内容	交通結節点及び各機能の整備目標 (◎：全て整備 ○：一部整備 -：必要に応じて検討)														生活 基盤 施設	地域 拠点 施設	備考	
			公 共 交 通 施 設								バスターミナル・バス停留所 (乗降客数を基本に特殊要因を加味)									
			駅舎・駅前広場 (乗降客数を基本に特殊要因を加味)				バスターミナル・バス停留所 (乗降客数を基本に特殊要因を加味)													
山形駅	北山形駅・蔵王駅	羽前千歳駅	山寺駅	楯山駅	東金井駅・南出羽駅・漆山駅・高瀬駅	新駅	山交ビルバスターミナル	市役所前	南高前	蔵王温泉バスターミナル	千歳公園待合所、芸術工科大学前、県庁前	道の駅「(仮称)やまかた蔵王」	山形駅東口旧ビブレ跡地付近							
乗り換え機能	待合	ベンチ、空調、雨よけ	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	○	○	空調・雨よけは利用者数、利用者特性及び建物や周辺環境を勘案し整備を検討	
	情報提供・デジタルサービス	運行情報、乗換情報、観光情報、デジタルサイン、電子決済	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	○	○	デジタルサービスはMa a S 整備と合わせて検討	
	バリアフリー	エレベーター、エスカレーター、手すり、視覚障がい者用誘導ブロック、多機能トイレ、車いす駐車スペース	◎	◎	○	◎	○	○	◎	◎	○	-	○	-	◎	◎	○	○	各管理主体と調整し整備を検討	
	歩行移動空間	通路、歩道、融雪歩道	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//	
	移動手段の接続	タクシー乗降場、駐車場、駐輪場、シェアサイクル・カーシェア	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ウォーキング・サイクリングモデルコースの設定に合わせて必要な設備や面積を検討	
拠点形成機能	サービス提供	飲食、物販、公的サービス、イベント	◎	○	-	-	-	-	○	◎	-	-	○	-	◎	◎	○	○	民間活力の活用を検討	
	賑わい創出	オープンスペース、イベントスペース	◎	○	○	○	○	○	○	◎	-	-	-	-	◎	-	-	-		
ランドマーク機能	景観形成	シンボリックデザイン、意匠統一	◎	-	-	◎	-	-	-	-	-	-	◎	-	◎	-	-	-		
備考			駅前広場の充実について引き続き調査研究		駅と路線バスの結節点についてバス事業者と調整		駅と路線バスの結節点についてバス事業者と調整		駅と路線バスの結節点についてバス事業者と調整		現時点で新駅に必要なと想定される機能として整理		(※)	※中心市街地活性化に向け、ウォーカーフレンドなまちづくりや駐車場再配置等に向けた検討に合わせ、バス停のあり方も検討				大規模バスターミナル整備について引き続き調査研究	各管理主体と調整し整備を検討	地域の公共交通等の導入検討に合わせて適地を選定

### 4. 交通結節点の整備方針 (今後の進め方)

交通結節点の効率的な整備を進めるため、優先的に取り組む箇所を次のとおりとする。なお、整備優先箇所以外の箇所についても調査・研究を継続し、条件が整った箇所は随時整備に努める。また、具体の整備にあたっては、国土交通省が策定を推奨する都市・地域総合交通戦略を策定し、整備に関する取組みを当該戦略の施策に位置づけたうえで推進するとともに、民間有識者等で構成する協議会を設置し評価指標による評価を行う。

#### ■整備優先箇所の整備方針

蔵王駅	バリアフリー基本構想を策定することにより、バリアフリー整備対象駅になり得ることから、駅舎のバリアフリー環境整備について鉄道事業者と協議を進めていく。
山寺駅	山形市の二大観光地である山寺への玄関口となる山寺駅のバリアフリー環境整備について、仙山線の利用促進及び利便性向上プロジェクトに基づき鉄道事業者と協議を進めていく。
楯山駅	駅北側の(都)楯山停車場天童線が事業中であり、楯山地区の公共交通モデル事業の検討を進めていることから、これらと一体的な駅北側の広場機能の整備に向けて、必要な調査や地域・交通事業者等との協議を踏まえ整備基本構想を作成し、順次設計・整備を進めていく。
新駅	将来的な新駅との接続を見据えた南部循環バスを導入するとともに、新駅の整備可能性を検討するうえで必要な調査等を踏まえ鉄道事業者と協議を進めていく。
馬見ヶ崎・嶋エリア	路線バスとモデル事業(北部循環バス・金井地区西部)等が接続する中心市街地と周辺の郊外地域の連携拠点として、必要な調査や施設管理者・交通事業者等との協議を踏まえ、適地を選定のうえ整備基本構想を作成し、順次設計・整備を進めていく。
イオンモール山形南付近	路線バスとモデル事業(南部循環バス)等が接続する中心市街地と周辺の郊外地域の連携拠点として、必要な調査や施設管理者・交通事業者等との協議を踏まえ、適地を選定のうえ整備基本構想を作成し、順次設計・整備を進めていく。